

# 第7回安全衛生大会の実施結果【速報】

平成29年5月30日(火)14:00~16:50、横浜市情報文化センター

■■参加者100名…多くの御参加、ありがとうございました。■■

◆当日の講演資料については、会員専用サイトに掲載します。◆

開会 古敷谷会長あいさつ



脇田議長からスローガンの表彰



## ■最優秀賞■

作業手順 見るクセ 読むクセ 守るクセ (森屋 健 様、株式会社グーン)

## ■優秀賞■

思い出せ 無事故で帰ろう 家族の笑顔 (太田 直人 様、横浜環境保全株式会社)

注意する厳しい言葉は思いやり みんなで創ろう無事故・無災害(石川 寿一 様、株式会社三菱商事)

慣れるほど忘れてしまうその危険 安全確認最優先 (神田 健義 様、JFE 環境株式会社)

目で見て確認 危険予知 みんなで摘み取る危険の芽 (木野 勝也 様、株式会社IWD)

気づいたら 遠慮は禁物 即注意 (目黒 啓太 様、株式会社タズミ)

産業廃棄物処理業における  
労働災害防止対策の取組に向けて  
講師：神奈川労働局 専門官 赤前幸隆氏



全国の労災統計データに基づき、産廃業での労働災害の特徴として、「はさまれ・巻き込まれ」事故が圧倒的に多く、「動作の反動・無理な動作」、「墜落災害」の順になっており、いずれも在来型災害である。また、ごみ収集運搬車の位置づけ、車両系荷役運搬機械等を用いて作業を行う場合、単独作業を除いて「作業指揮者」の選任が必要な事などが説明された。近年無事故の事業所の取組について出席者に問いかけ、作業台を持って行くなどの対策が有効であることの説明があった。

労災防止のための排出事業者様との連携について  
講師：協会 相談役 長谷川 滋



「法令違反の公表企業」の事例とすぐ直す安全対策  
講師：労働安全コンサルタント 二階堂久氏



質疑応答



建設業では労働災害が激減したことの理由として、下請け構造、ゼネコンの存在、建災防の存在を例に説明があった。28年度再びワーストになってことを踏まえ排出事業者と連携して取り組む必要性について説明があった。新しい取り組みの例として、家電リサイクル業界の事例をもとに、現場・書類監査、良い競争の必要性について述べられた。

法令違反企業について事例とそれに対する安全対策について説明があった。また、危険な事例や安全対策をした事例について動画を交えてインパクトのある説明があった。最後に行政情報として産業医制度の見直し状況の説明があった

- Q 業務委託先においてヘルメットの着用に関する法的な根拠はありますか
- Q 休業日数の数え方について
- Q 産業医の職場巡視結果の報告様式と保管期間の規定はありますか

(公社)日本保安用品協会や賛助会員等によるパンフレット・資料、各種保護具の展示

